

トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトの活動実績データ記録

山のトイレを考える会 (2026.2.5)

(フォーラム資料集等からデータ収集)

(プロジェクト事業期間：H29～R2。その後予算なしで活動継続)

※登山者数はH28までは(有)風の便り工房の佐藤文彦氏のデータ。H29からは環境省の登山者カウンターからのデータ

年度	H12 2000	H13 2001	H14 2003					H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025							
1	フォーラム開催回と著者														18牛嶋 原澤	19牛嶋 原澤	20牛嶋 原澤	21牛嶋 橋口	22村上 橋口	23村上 齋藤	24村上 齋藤	25村上 齋藤	26番匠 永田	27滝下 永田						
2	使用済携帯トイレ回収数														129	141	265	192	280	248	220	556	429	1271	881	1453	866	1602	1242	1210
3	トイレ痕数(南沼)														49以上	43	38	13	14	16	4	5	5	4						
4	携帯トイレ認知率*														*2017～2019は南沼でのアンケート調査。2021は短縮路登山口でのアンケート調査(母数48人)。2022～2025は入林届届簿によるデータ															
5	携帯トイレ持参率*														89%	89%	94%		98%											
6	南沼テント数(7～9月)														324	308	469	302	223	422	429	439	497							
7	推定利用者数														680	647	985	634	468	886	901	922	1044							
8	トイレ道植生復元事業														○	○	○													
9	携帯トイレブース設置														1基目			2基目												
10	ブース利用数(南沼2基合計)																	467	532											
11	ブース利用数(カムイサケナイ)																						9 8/25～ 9/27	101 7/3～ 9/18	162 7/2～ 9/19	約140 7/11～ 10/1				
12	携帯トイレ配布ボックス 販売数(1個当りの協力金)																						190 (398円)	138 (396円)	195 (511円)	153 (586円)	72 (1465円)			
13	携帯トイレ販売数(東大雪荘)														120	180	283	129												
14	登山者数(総計)														3200	2500	2700	2400	3100	2400	3500	3500	3600							
15	登山者数(短縮路)※														2414	2337	2434	2231	1971	2626	1259	3100	2400	2600	2300	2900	1900	3300	3300	3400
16	登山者数(温泉口)																					100	100	100	100	200	500	200	200	200

特記事項

北海道の山のトイレ改善事業(H12～H14)

- ・携帯トイレの配布：3年間で約6400個
- ・携帯トイレブースの設置(東大雪関連)  
トムラウシ南沼、ニベソツ山
- ・回収ボックスの設置(東大雪関連)  
トムラウシ温泉公衆トイレ、ニベソツ山登山口  
石狩岳登山口、白雲山登山口
- ・バイオトイレの設置：トムラウシ短縮路登山口
- ・避難小屋し尿へり搬出：ヒサゴ沼、上ホロ、  
忠別岳、白雲岳の避難小屋4箇所

トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト発足

- ・発足：H29年4月1日
- ・事業期間：H29～R2(4年間)
- ・部会長：新得山岳会会長 小西則幸
- ・事務局：北海道十勝総合振興局環境生活課
- ・構成員  
環境省上士幌管理官事務所、林野庁十勝西部  
森林管理署東大雪支署、北海道十勝総合振興局、  
北海道上川総合振興局、新得町、十勝山岳連盟、  
新得山岳会、山のトイレを考える会

トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトの成果

- ・ブース2基目を設置。ブース待ちが解消。
- ・携帯トイレの認知度、持参率は90%以上。  
南沼のトイレ痕が殆どなくなった
- ・トイレ道の植生復元事業と岩陰での排泄が  
なくなり、植生が復元してきた
- ・南沼までの中間地点カムイサケナイに  
テント型ブースを設置。利用数も高い。
- ・携帯トイレ配布ボックスで携帯トイレが  
入手し易くなった